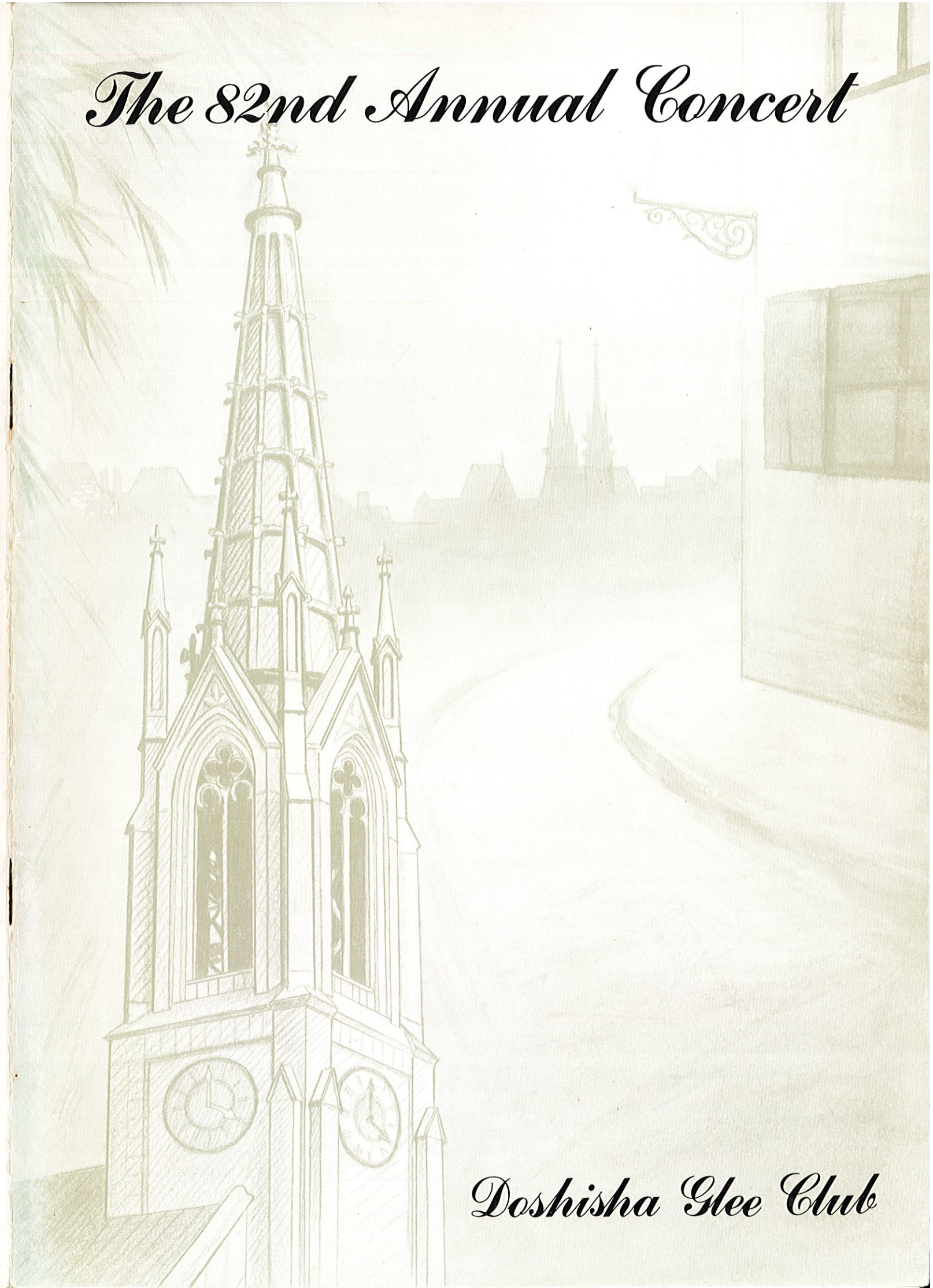


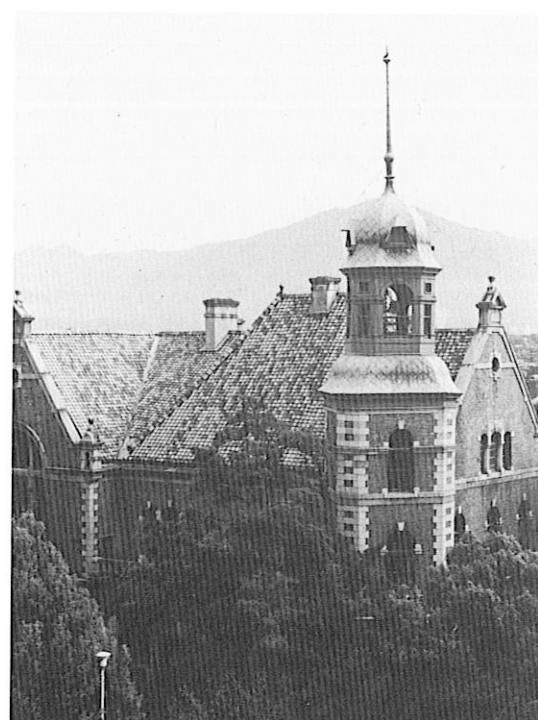
The 82nd Annual Concert



Doshisha Glee Club



Campus in TANABE



Campus in IMADEGAWA

DOSHISHA COLLEGE SONG

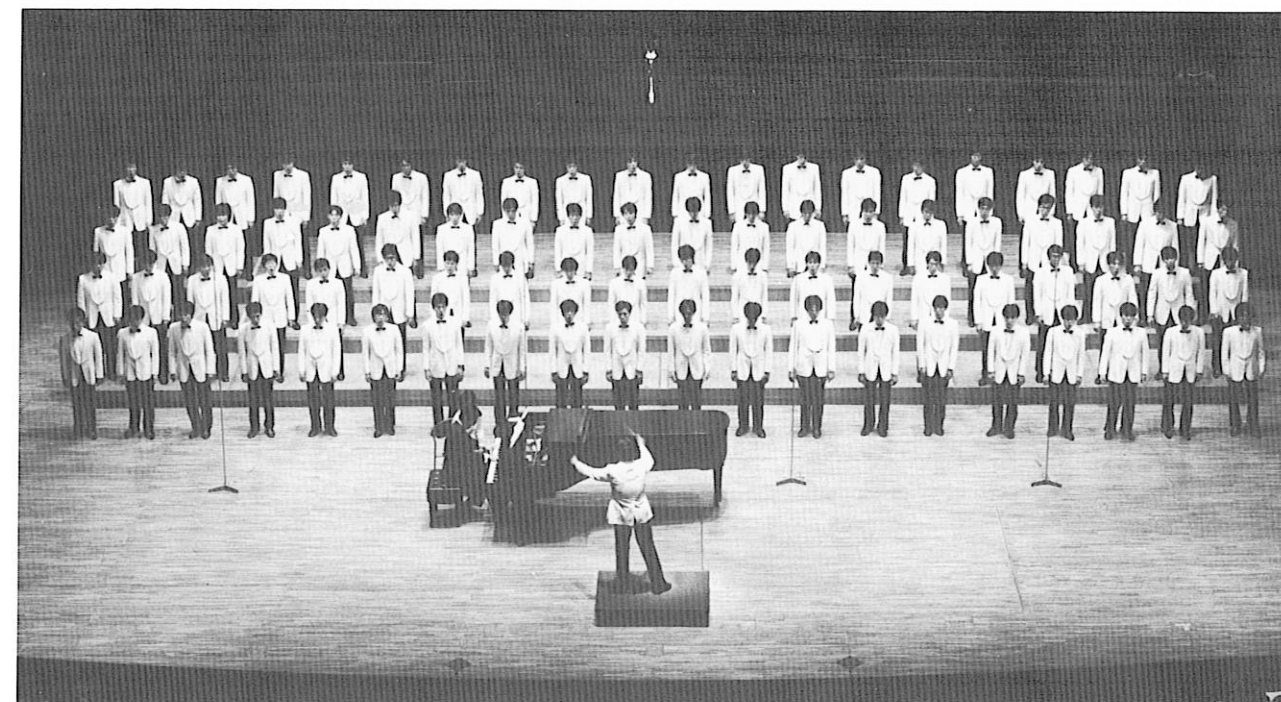
One purpose Doshisha, thy name
Doth signify one lofty aim.
To train thy sons in heart and hand
To live for God and Native Land.
Dear Alma Mater sons of thine
Shall be as branches to the vine.
Tho' through the world we wander for and wide,
Still in our hearts thy precepts shall abide.

Still broader than our land of birth
We've learned the oneness of our Earth
Still higher than self-love we find
The love and service of mankind
Dear Alma Mater sons of thine
Would strive to live the life divine.
That we may with increasing years have stood
For God, for Doshisha and Brotherhood.

第82回 同志社グリークラブ定期演奏会

1986. 12. 20(sat)

ザ・シンフォニーホール



御 挨拶

本日はお忙しいところ、私共同志社グリークラブ第82回定期演奏会においで下さいまして、誠にありがとうございます。

この1年間、私共グリーメンはクラブの一大転機を経験いたしました。今春からの1・2年次田辺移転による部員達の分断。片道1時間半の距離と交通費などといった問題から練習形態の模索と新たな問題が次々に浮かび上がり、連日のようにミーティングを行ないました。けれども、どのような苦しい状況にあらうとも、私共はひとつの“心”で結ばれていました。純粋に音楽を愛し、美しいものを求めようとする情熱が皆を支えていたのです。時代は変わろうとも、この情熱こそが同志社グリーの精神であり、今後も受け継がれていくはずです。

今春の欧州演奏旅行では、西洋音楽の源泉である教会で素晴らしい音楽体験をすることができ、それらの音楽経験と生活体験が、今後の同志社グリーの新たな飛躍へのステップとなるでしょう。

今宵、1年間の総決算であるステージで、そんな私達の創り出す音楽が皆様の心に触れ、ホール一杯に尽きることのない感動を生むことができましたら、この上ない幸せです。

最後になりましたが、福永陽一郎、富岡健両先生をはじめ、大久保昭男、戎洋子、塚田康弘、岡坊久美子の諸先生方、並びに諸先輩方、本演奏会の開催に御尽力下さいました関係各位に部員を代表して厚く御礼申し上げます。

同志社グリークラブ幹事長 梅田 隆 司

同志社大学総長
松山義則

現代における合唱音楽は、美しい旋律を豊かな表現によって、人間の感情を心ゆくまで昇華し、知らずに聴くものにも大きな共感を呼び起させます。

わがグリーメンも、こよなく音楽を愛し、合唱への情熱に燃え、すばらしいハーモニーを醸し出すため、不断の精進を積んでまいりました。ご高承のとおり、この春同志社グリークラブは欧州を歴訪、ライブチヒの聖トマス教会をはじめ、西ドイツ、東ドイツそしてスイスの三カ国の各地で、多くの聴衆を魅了して、好評を博しました。今宵もまた、きっと皆さまにご満足いただける演奏を披露してくれるものと思います。

どうか、このひとときを楽しんでいただき、今後ともあたたかいご声援を賜りますようお願い申し上げます。

同志社グリークラブの第82回定期演奏会が開催されますにあたり、ひと言ご挨拶申しあげます。
人は歓喜のとき、また悲哀のとき、はたまた祈りにあるとき、その感情が高まってまいりますと、共感する仲間と歓びの気持、悲しみの気持、あるいは神の愛を讃える心を分かち合い、声をあげてたしかめ合うことが自然のようであります。合唱音楽のみならずそこにあるとすれば、これこそ人間性にあふれた行為と言えましょう。

本日、ここに同志社グリークラブ第82回定期演奏会を聞くことができ、喜んでます。

現在、同志社グリークラブは、重大な3つの危機に直面しています。

その第1は、同志社大学田辺キャンパスの開校であります。これは、同志社大学の教育、研究にかかわる事柄であり、同志社の将来を大きく変える大英断であったと思います。しかしながら、田辺開校により、1、2回生は田辺、3、4回生は今出川と校地が二分されたために、どのクラブにとっても、その活動に支障をきたすようになったことは否めません。グリークラブも、今日は田辺、明日は今出川と練習場が変わり、まったく新しい経験をいたしました。

第2は、顧問の交代です。25年間顧問を続けられた遠藤彰先生から私に、顧問のバトンタッチが行なわれました。このことによって、グリークラブの活動が停滞しないよう心がけたいと思っています。

第3は、技術顧問の福永陽一郎先生が、健康上の理由から、公式の演奏会での指揮をおやめになるということです。したがって、今夕の定期演奏会でも、先生に指揮をしていただくことができなくなりました。先生には、技術顧問として、引続き技術面の御指導をお願いすることになってはいますが、今後は、直接先生からお教えを受ける機会が少なくなることと思います。

グリークラブの諸君が、上に述べた3つの危機を克服し、これを転機として、さらに大きく前進することを期待しています。

御来場の皆様には、今後とも変らぬ御支援、御鞭撻をたまわりますよう、よろしく願い申し上げます。

全日本合唱連盟副理事長
音楽評論家

日下部吉彦

同志社グリーが、大阪のザ・シンフォニーホールで定期演奏会を開くようになったとき、「同志社グリーは、京都だけに留まる演奏団体ではない」という意味のことを書いた記憶がありますが、今年は、遂に大学自体が、半分、田辺に移転してしまい、いよいよマルチ・プレイスの合唱団となりました。これに伴う、さまざまな障害が生じているかと思いますが、私は敢えて、いいことだと思っています。

京都という土地柄は、どうかすると閉鎖的、ひとりよがり、温室的風土を持っていますから、こうして活躍の場が、いやおうなしに広がってゆくことは、決して悪いことではありません。いまや「日本の」同志社グリー、「世界の」同志社グリーなのですから。

ただひとつ残念なことは、永年ご指導頂いた福永陽一郎先生が、今年限りで辞任されるとのこと。お身体有加減ということですから、これはやむを得ない事情ですが、大きな柱がなくなることになります。しかも、今夜もまた、お別れの指揮が見られないのが淋しい限りですが、その分、富岡先生、そして団員諸君、頑張ってください。幸い、岡坊久美子、塚田康弘、戎洋子といったプロのオー線級が協演して下さるとのことで、きっと充実した舞台になることでしょう。

ご盛會を祈っています。

京都府合唱連盟理事長
関西合唱連盟理事長

吉村信良

この秋のコンクールでは男声合唱団の台頭がめだちました。関西コンクールでは、淀川工業高校がみごと金賞を受賞、大学でも銀賞の大経大グリーをはじめ近畿大、滋賀大などがめきめきと実力をあげ、一般の部では、男声合唱団が8団体も出場、関学グリーOBを軸としたコールセコインテが金賞を受賞して全日本に出場、松山でもすてきな演奏を披露してくれました。また全日本コンクールでは、最高峰の金賞に、会津高校、京産大グリー、クール・ジョワイエ(一般)と3つの男声合唱団が輝きました。

80年の歴史を誇る同志社グリークラブも、かつてはコンクールで日本の男声合唱界を常にリードしてきた老舗。コンクールにでなくなっても、やはり先頭にたってほしい合唱団です。それにはどんなステージの場合でも、きくものを納得させる演奏をしなければならない義務があります。しかも今回のようにいままで献身的に面倒をみてこられた福永先生のお出にならない時こそ、心をひきしめていい演奏会を作り上げてほしいと思うのです。

歌い手も聴衆もともに幸せいっぱいの演奏会でありますよう。

同志社グリークラブOB会々長
松本寛二

大学の半が田辺に移って、同志社の学園が真二つになってしまった。狭いから、さわがしいから、広く、しかも静かな所を求めて移るのは当然のこと、むしろおめでたいことだが、さて、そうなったらグリーの練習は、ラグビーの練習はいったいどうなるんだ、どうやっているんだろう、というのが私のいちばん気になるところだった。

ところが、学生に聞いてみると(デンワで)、全部員が近鉄の定期を買って、きょうは今出川、あすは田辺へと練習に行くんです、と言う。「お金がかかって大変だなー」と言ったら、「そうです、でも、定演のため必死なんです。」と、デンワの声は元気よくはね返って来た。そうか、そうか、やっているんだな、ああ良かった、これで原稿書けるわい、と思いながら遠距離デンワを切った。今日は今出川、明日は田辺、そんな努力を全部員がつみ重ね、そして迎える82回目の定演、恐らく、この定期には、これまでとは異った何かがあるのではないかと、という気がしてならない。しかも、今年は新入部員の大量入部で、最高の充実ぶりだ、と聞いた。

その強力メンバーで歌うタンホイザー、あの力強い男の大合唱は、恐らくこの定演のメインとして最高の盛り上がりを作ってくれるのではないだろうか。数年前にパイロイドで聞いた時のあの驚きが、感動がこんどはシンフォニーホールで甦って来そうな気がする。富岡君も学生指揮者の中村君も頑張ってください。

そんなわけで、今や年末、それもクリスマス前のザ・シンフォニーホールの呼び物の1つとなった同志社グリーの定演が、今年も大盛況のうちに終わりますように心から祈ってやみません。

関西学院
グリークラブ

第82回同志社グリークラブ定期演奏会の御開催を関学グリーメン一同、心よりお祝い申し上げます。
私共にとって貴団は、東西四連、同関交歓演奏会、関西六連という具合に共有するステージの最も多い良きライバルであり、良き友であります。もっと部員間のつながりを深めようと思図して始まった「同関交歓会」も今年で2回目。この楽しかった場を機会に、互いにより高いレベルで真のライバルでありたいと確認し合えたことは大変有意義なことでした。そんなこともあって、今宵の演奏会を部員一同異常なまでに楽しみにしています。私共がつい貴団の演奏に期待してしまうことに、あの瑞々しいはじける様な響きがあります。期待してしまうということは、裏返せば常にそういう演奏をしてくれるからなのですが、貴団の演奏に際してあの「瑞々しさ」を覚えるとき、私共は何も考えずに喜んでしまいます。と同時に、喜こんだ自分に腹を立てしまうのです。この時ばかりは、良き友とは認められないのです。今宵もそんな後悔をするだろうとわかっていても、シンフォニーホールへ向う足を止められません。どうか、かつてない強烈な後悔を私共にさせて下さい。それでこそ真のライバルです。

もうすぐクリスマスです。小雪の舞う空の下、家々の灯に暖かさを感じる此頃です。どうか、本日御来場の皆様の心に暖かい灯をともしてあげて下さい。最後になりましたが、今宵の演奏会の御成功と貴団の今後一層の御発展をお祈り申し上げます。

早稲田大学
グリークラブ

鴨川は、今もその清らかな流れを湛えて、京の街を美しく満たしていることでしょう。曾て共に川原に集い、出会いに歓喜の声を上げる私達を大きく受け止めてくれた豊かなる懐。いかなる喧騒をも底知れず包みこむ、しんとした静寂。
鴨川——その川の満たす土地に生き、育まれた同志社グリークラブの歌声の、また清らかなる響きが、豊かなる響きが常に私達を魅了して止まないのです。そして滔きたたんばかりに力強さの漲る皆様の後ろに、今も潜、と流れる川の音を聞く時、その力をも導き出す真の魅力のここにあらんことを知るので。ゆく川の流れの絶えることなきがごとくに、皆様の歌声もまた、いつまでも京の街を美しく染めてゆき続けるのでしょうか。私達はそれらの彩りに浸ってゆけることを切に願っている者なのです。来たるべき日、会場を埋める全ての人々がその幸運に恵まれることを心よりお祈り致します。

慶応義塾ワグネルソサエティ
男声合唱団

雪の積もった彼方には、稜々たる山肌が青々としている。そして谷川のあたり、小雪がまばらな松の木立に白色を点じている。
第82回同志社グリークラブ定期演奏会の御開催おめでとうございます。東西四大学合唱連盟の仲間として心よりお祝い申し上げます。

常に向上心を持って演奏会にのぞまれる貴団の姿勢には敬服すべきものがございます。たゆまぬ団員一人一人の努力が、すばらしい音の結晶となって会場に満ち、私たちの心に訴えかけてくるのです。芸術とは、ある手段を通じて、直接人々の心に、さらにその奥底にある何ものかに問いかけ、大きな感動として受けとめさせることのできるものでしょう。

今宵も、福永陽一郎先生、大久保昭男先生、富岡健先生の御指導のもと、すばらしい演奏を聴かせてくれることと思います。これからも貴団の益々の御活躍御発展をワグネルアン一同、心よりお祈り申し上げます。

立教大学
グリークラブ

第82回定期演奏会おめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。

皆様の御活動は、我々にとって大きな関心の的であり、同じく合唱を志す者として憧れの的でもあります。京都と東京という離れた地、今宵の演奏会を全員で聴きに行けないのが本当に残念でたまいません。しかし、長い伝統に培われた「同志社グリー」の重厚かつ繊細なハーモニーを耳にする時、我々は合唱への情熱をまた新たにかきたてる励みとなります。

そして来年には三年ぶりに京都におきまして、同志社・立教交歓演奏会が開催される予定でもあり、部員一同今から皆様と同じステージで歌えるのを楽しみにしております。

最後になりましたが、今宵は日頃の練習の成果が遺憾なく発揮され、同志社グリーの歴史に輝かしい1ページをつけ加えられることを、心よりお祈り申し上げます。

DOSHISHA COLLEGE SONG

作詩：W. M. Vories

作曲：Carl Wilhelm

I. Missa O Magnum Mysterium

作曲：T. L. de Victoria

編曲：皆川達夫

指揮：富岡健

1. Kyrie
2. Gloria
3. Credo
4. Sanctus
5. Benedictus
6. Agnus Dei

II. 男声合唱組曲「雨」

作詩：伊藤整 大木惇夫

尾形亀之介 八木重吉

作曲：多田武彦

指揮：中村洋

1. 雨の来る前
2. 武蔵野の雨
3. 雨の日の遊動円木
4. 雨 雨
5. 雨の日に見る
6. 雨

Intermission

III. 7 Negro Spirituals

編曲：M. Bartholomew

F. Heath

R. Shaw

指揮：中村洋

1. Little Innocent Lamb
2. Let Us Break Bread Together
3. If I Got My Ticket, Can I Ride?
4. Sometimes I Feel Like a Motherless Child
5. The Battle of Jericho
6. My Lord What a Mornin'
7. Didn't My Lord Deliver Daniel

IV. 歌劇「タンホイザー」より

作曲：R. Wagner

編曲：福永陽一郎

指揮：富岡健

ピアノ：戎洋子

ソプラノ：岡坊久美子

バリトン：塚田康弘

1. 大行進曲
2. 巡礼の合唱
3. エリザベートの祈り
4. 夕星の歌
5. フィナーレ

第1ステージ Missa O Magnum Mysterium

解説

スペイン中央、カスティリヤ高原の澄んだ大気の中にたたずむアヴィラ Avila の町。周囲を取りまく石の壁、いくつもの教会、石畳を連ねた町通りに中世の面影を残し、宗教的雰囲気は今日も色濃く漂っている。——その中央広場は、この地に生を受けた16世紀スペイン最大の宗教音楽家の名を記念し〈VICTORIA広場〉と名付けられている。

●熱き魂のほてり——黄金世記のスペイン精神を代表する……VICTORIA

16世紀のスペインは、Carlos I (在位1516～56)、その世嗣Felipe II (在位1556～98)の統治下、「シグロ・デ・オロ」と呼ばれる、経済、軍事、文化あらゆる面での黄金時代を現出した。

Tomás Luis de Victoria (1548～1611)は、そうした国力の隆盛を背景に開花したスペイン芸術の多彩なパノラマから登場、文豪Cervantes (1547頃～1616)や画家El Greco (1545～1614)に並ぶ傑出の存在であった。

幼い日々を少年聖歌隊員として過ごしたVictoriaは、後、Segoviaで音楽を学ぶが、17才のとき、さいわいに年金を下賜され、時の君主Felipe IIの派遣で、法王の膝元Romaへ赴く。イエズス会のセミナリであるドイツ学院に学んでのち、幾つかの聖堂楽長、オルガニスト、ローマ神学校の音楽教師などの職につくが、神学校楽長であった大家Palestrinaとの出会いが、彼の音楽に多大な影響を与えるのである。1572年に、最初のすぐれたMotet集を出版して名をあげ、創作活動に励むが、生来の深い宗教精神を抱いていた彼は、1578年、突然あらゆる職を投げうって、平(ひら)の司祭となり、その満ち足りた静かな明け暮れの中で、「死者のためのミサ曲」(1583)、「聖週間聖務曲集」(1585)などの傑作を生み出す。その後、創作はスペインとイタリアを往復する生活の中で続くが、1587年頃、Madridのデスカルス・サンタ・クラフ修道院の楽長になってのち、敬愛していた故Maximilianに仕え、その死に際しては、みずから「白鳥の歌」と称する「ミサ・プロデフンクティス」を捧げている。のち、王妃の娘Margareteに仕えて過ごす晩年であったが、1611年8月27日、生涯独身の身を神の手に委ねたのであった。

《Missa O Magnum Mysterium (おお大いなる神秘よ)》は、1592年に出版された4声の曲で、Victoria自身の同名Motet (1572年出版)に基いたMissa Parodiaである。〈O magnum mysterium, et admirabile sacramentum …… おお大いなる神秘、また賞賛すべき秘跡／動物たちが、生まれ、かいば桶に横たわる主を見るとは／おお幸いなる乙女、その胎は主イエス・キリストをもたらず光栄をえた。アレルヤ——キリスト降誕の祝日(クリスマス)の第2夜課に唱えられる言葉に基くMotetもまた、奥深い美しさに満ちた4声の曲だが、MissaはこのMotetの音型を巧みに用い、Kyrieの冒頭はO magnum mysteriumから、Christeの冒頭はUt animaliaから、第2 Kyrieの冒頭はJacentem in praesepeから、Gloriaの冒頭はviderent Dominiから、という具合に全体が作り変えられている。作品はこの他に、Missa 20 (うちRequiem 2)、Motet 44、Immunus (聖歌) 34、Magnificat 18、他聖週間聖務曲集、Antiphona (応唱) など、180篇ほどに及ぶが、生涯を通じ、彼は世俗作品には全く手を染めず、一層徹底した宗教音楽家としての道を歩んだ。内心から湧き出る情熱と、憧れの切実さに溢れ、師Palestrinaの明快さ、端麗さとははっきり異った美を打ち出している。その大胆な旋律の飛躍、巧みな不協和音の使い方、リズムの変化が織りなす悲劇的、劇的気分は、同時代の、El Grecoの画面に見るスペイン神秘主義の高みと共通する。とりわけ、「死」や「受難」といったモチーフを扱うとき、狂気にも近い感情の昂揚をみせ、その表現意欲は100パーセント燃焼し尽くすのである。

皆川達夫

I. KYRIE

Kyrie eleison.
Christe eleison.
Kyrie eleison.

II. GLORIA

Gloria in excelsis Deo.
Et in terra pax hominibus bonae voluntatis.
Laudamus te. Benedicimus te.
Adoramus te. Glorificamus te.
Gratias agimus tibi propter magnam gloriam tuam.
Domine Deus, Rex caelestis, Deus Pater omnipotens.
Domine Fili unigenite, Jesu Christe.
Domine Deus, Agnus Dei, Filius Patris.
Qui tollis peccata mundi, miserere nobis.
Qui tollis Peccata mundi,
suscipe deprecationem nostram.
Qui sedes ad dexteram Patris, miserere nobis.
Quoniam tu solus sanctus.
Tu solus Dominus.
Tu solus Altissimus, Jesu Christe.
Cum Sancto Spiritu in gloria Dei Patris. Amen.

III. CREDO

Credo in unum Deum.
Patrem omnipotentem, factorem caeli et terrae,
visibilium omnium, et invisibilium.
Et in unum Dominum Jesum Christum,
Filius Dei unigenitum.
Et ex Patre natus ante omnia saecula.
Deum de Deo, lumen de lumine,
Deum verum de Deo vero.
Genitum, non factum, consubstantialem Patri :
per quem Omnia facta sunt.

Qui propter nos homines, et propter nostram salutem
descendit de coelis.
Et incarnatus est de Spiritu Sancto ex Maria Virgine :
Et homo factus est.
Crucifixus etiam pro nobis :
sub Pontio Pilato passus, et sepultus est.
Et resurrexit tertia die, secundum Scripturas.
Et ascendit in coelum : sedet ad dexteram Patris.
Et iterum venturus est cum gloria judicare vivos et
mortuos : cujus regni non erit finis.
Et in Spiritum Sanctum, Dominum, et vivificantem :
qui ex Patre Filioque procedit.
Qui cum Patre et Filio simul adoratur,
et conglorificatur : qui locutus est per Prophetas.
Et unam sanctam catholicam et apostolicam Ecclesiam.
Confiteor unum baptismum in remissionem peccatorum.
Et exspecto resurrectionem mortuorum.
Et vitam venturi saeculi. Amen.

IV. SANCTUS

Sanctus, Sanctus, Sanctus, Domine Deus Sabaoth.
Pleni sunt coeli et terra gloria tua.
Hosanna in excelsis.

V. BENEDICTUS

Benedictus qui venit in nomine Domini.
Hosanna in excelsis.

VI. AGNUS DEI

Agnus Dei, qui tollis peccata mundi : miserere nobis :
Agnus Dei, qui tollis peccata mundi : dona nobis pacem.

第2ステージ 男声合唱組曲「雨」

メッセージ

昨年、多くのかたがたのご尽力で見事に出来あがった「同志社グリークラブ創立80周年記念誌」を頂き、つぶさに拝見して、同志社グリークラブの日本の合唱界に残した足跡の大きさに今さらながら驚き、心から敬意を表した。そして、その一頁に私も書かせていただいたとおり、私流にいつも云わせていただく藍色の深淵なハーモニーは、不思議とどの曲にもあって、聴衆の心に感動を呼びおこす。私もその一人として、京大在学中以来今日まで、いくたび心にやすらぎを覚えたことだろうか。

今度採りあげていただいた組曲「雨」は、昭和55年の同立合唱交歓会以来のことと思うが、どちらかというとウェットな色調を得意とする同志社グリークラブによる「武蔵野の雨」や「雨の日の遊動円木」や「雨の日に見る」そして終曲の「雨」は、さぞかし独特の美しさが展開することだろう。また、その底から突き上げるような量感を以て「雨の来る前」が提示され、高度な技巧と精緻な表現で以て、「雨、雨」が降りしきることだろう。

演奏会のご成功と、今後ますますのご発展を心からお祈りする。

多田武新

演奏するにあたって

人間の生活というものは、文明の発達した現在においても、自然との関連なしに多くを語る事ができないのではないだろうか。この組曲は、その視点を雨という自然現象に向ける事から内容が展開し、自然の寛容さの中に人間像を描写している。そして終曲において「雨があがるように しずかに死んでゆこう」と結んでいて、人生の終着駅に近い人間の心の深さを表現している。昭和42年2月に作曲され同年5月に外山浩爾氏指揮の明治大学グリークラブによって初演以来、多くの大学のグリーメンに共感と呼んだが、第4曲が近年入れ変えられ、器楽的処理を要する個性ある曲として目を引く。これは、私見であるが、多田氏の作品を演奏する場合、音作りから言及していくか、詩の内容から言及するか大体この2つの方法があると思うが、どちらも一人歩きしてしまわない事を肝に銘じている。今回の演奏の方針としては、詩の行間に暗に示される日本人独特の間というものを音という素材で表現出来れば素晴らしい事ではなかろうかと考えている。この曲を選ぶに当っては、高校時代からのこの曲への思い入れを快く受け入れてくれた技術系の諸君に特に感謝します。今年は、ここ数年では異例の学生2ステージとなりますが、福永先生、富岡先生、大久保先生の熱心な御指導あってこそその同志社グリークラブであるという気持ちを常に持ち続け本日のステージに立とうと思う所存です。

中村 洋

雨

I. 雨の来る前

伊藤 整

ざあっとやって来いよ 夏の雨
地上のすべてのものは用意している。
山の麓から低くかぶさってしまった雲よ。
夏の緑はうす暗い蔭におおわれ
物ほしに白いものがかかり
燕は黒く曇天の下を飛び交い
人は重い頭をして室にいる。
降って来いよ 夏の夕立
その時 始めて人の目はほっと開かれ
草木も葉を そよがせるのだ。

II. 武蔵野の雨

大木 惇夫

群鳥を追いつつ
どの土地を濡らしにゆく
月の夜ごろを掠める雨
襟の匂いのふんとする雨
武蔵野の雨

III. 雨の日の遊動円木

大木 惇夫

雨の日の遊動円木
びしょびしょ濡れて、ただ光って、
動くは低い雲ばかり。

雨の日の遊動円木
鐘が鳴っても、曇やすみでも、
ゆすぶるものは 風ばかり。

雨の日の遊動円木
落ちる銀杏葉、ゆうかりの葉
雀が吹かれて、乗るばかり。

雨の日の遊動円木
びしょびしょ濡れて、もう日も暮れて
ハツ手の花が 見ているばかり。

IV. 雨 雨

尾形亀之介

DORADORADO —
TI-TATATA-TA
TI-TOTOTO-TO

DORADORADO
TI-TOTOTO-TO
DORADORADO —

雨は
ガラスの花

雨は
いちいち眼鏡をかけて

V. 雨の日に見る

大木 惇夫

冬、ほのぐらい雨の日は
朱朱が輝く、
朱朱が……
これは、眼をひらいて見る夢なのか。

街燈は めれている、
泥靴は濡れている、
風は雀をふっ飛ばしている、
人間の後姿はいそいでいる、
歌は絶えている、
電線は牽っている、
枯木はふるえている、
わたしの身体は凍えている
わたしは祈りをわすれている、
そうして、わたしはただ見る、
ほのぐらい雨の影のなかに
ぽっかり朱朱の浮ぶのを 輝くのを。

VI. 雨

八木 重吉

雨のおとが きこえる
雨がふっていたのだ。

あのおとのように そっと世のために
はたらいていよう。

雨があがるように しずかに死んでゆこう。



第3ステージ 7 Negro Spirituals

黒人霊歌の概略

フロンティア精神溢れるヨーロッパ人によるアメリカ大陸の植民に伴い、アフリカから荷物同様に、黒人奴隷達が運ばれて来た。彼らは、プランテーションにおいて主に綿花栽培の労働を強制された。そして黒人達は、彼らの存在価値を正当化する概念として、キリスト教を主人により教えられたのである。

キリスト教の教えに盲信的になり天国の存在を信じた彼らは、祈りの歌を労働のつかれをいやすために歌った。それが黒人霊歌である。黒人霊歌は、音階の種類として最も単純なペントニックが用いられ、半音進行や、シンコペーションなどにより、鈍いリズムが形成されている。音楽の質としては原始的であり、今日のジャズに代表されるアメリカ音楽の基本となっているといっても過言ではないだろう。

形式としては、先唱者に応答する形式や、天の恵みを祈るゆったりした憧憬歌や、リズム感溢れる躍動歌などがある。合唱への編曲は、数多くの人が行っているし、ロジェ・クーグナーや、ロバート・ショウのレコード等を合唱好きの人ならどこかで耳にしているだろう。最近では、バーバラ・ヘンドリックスの黒人霊歌集のレコードが飛ぶように売れたというが、これは、音色の良さ、音域の広さ、音程やリズムのつかみ方、そして心のこもった演奏が黒人ならではのものだからであり、我々に新鮮さを与えてくれたのだと思う。

演奏する前に

『リズムとメロディーでハーモニーの輪』

今日も練習が始まる。さあ、まず発声だ。ベースパートは、ドレミファミレド、テナーパートは、ミファソラソファミ。『全員でレガートで下さい。』練習場に音は、広がる。同志社グリーンも何十年もこのような事をしているのだろうが、最上級生でさえも、この体にしみ付いているはずの音階が歌えない。ふと思ってしまう。合唱って楽しいはずなのに何故、苦しい表情をして歌っているのだろうか？さんざんに考えたあげく部員が少しでも納得して歌えるレパートリーとして黒人霊歌が決定したわけである。今回は、3曲目を除いてエールのグリークラブのシリーズから選曲した。アレンジは、フェノ・ヒース氏とマーシャル・バーソロミュー氏である。（ちなみに3曲目は、ロバート・ショウのアレンジ。）

ところでこの黒人霊歌、数多くの合唱団が歌っているが、複雑なリズムにとらわれて迫力で音楽を押し切ってしまう所が多いように見受けられる。そこで、アンサンブルにおける各パートの和音の中の音色や旋律の役割を明確に表現する事により、表現の豊かな歌を各自が歌えて、優しく包み込むようなハーモニーの輪が聴衆と一体化される事を目標に、信念を持ち練習に臨んでいる所である。美しいハーモニーを得るためには、根源的なものが確立されなければならない。だからこそ、ごく単純なメロディーから、次第に新しい発見をして、偉大なる芸術へのステップとしたい。ハーモニーの輪は、永遠の時空へと続いていて、きらきらと輝く部員の目には、一つ一つ新鮮な音を奏でる事の楽しさに満ちている。そのような夢に色取られた演奏が出来れば幸福であると信じて…。天国への憧憬と祈りを持ち合わせた黒人霊歌であるが、今日のステージにおいて、本当にささやかだが、ハーモニーの花束をあなたに捧げたいと思う。いつも心に歌を持ち続けたい……。

中 村 洋

Little Innocent Lamb

Hypocrite, Tell you what he do,
He'll talk about me, An' he'll talk about you.
Debbil, he's got a slippery shoe,
Now if you don't mind, he gonna slip it on you.
Jes' take one brick from Satan's wall,
Satan's wall gonna tumble an' fall.
Little innocent Lamb, I'm agonna serve God till I die,
'Cause dere ain' no dying ober dere, in dat hebbently lan',
Dere'll be joy!

Let Us Break Bread Together

Let us break bread together on our knees.
Let us drink wine together on our knees.
Let us praise God together on our knees.
When I fall on my knees with my face to the rising sun,
Oh, Lord, have mercy on me.

Sometimes I Feel Like a Motherless Child

Sometimes I feel like a motherless child,
A long way from home.
Sometimes I feel like I'd never been born,
A long way from home.
Sometimes I feel like I'm almost gone,
A long way from home.

If I Got My Ticket, Can I Ride?

Lawd, if I got my ticket, can I ride?
Ride away to the heaven that mornin'?
Hear a big talk of the Judgment Day,
I got no time to projick away,
Away by and by without a doubt,
Jehovah will order His train about,
Clean out the world and leave no sin,
Tell me, please, where have you been?
Hear a big talk of the Gospel Train,
You wanna get on it?
Yeah, that's my aim!
Stand at the station and patiently wait,
The train is comin' and it's never late.
So long comin' that worried my mind,
I thought it was late, but was just on time.

The Battle of Jerico

Joshua fit the battle of Jericho, and the walls come tumblin' down.
You may talk about your Gideon,
You may talk about men of Saul,
But there's none like good old Joshua, at the battle of Jericho.
Right up to the wall of Jericho,
Marched with spear in hand, "Go blow that ram horn",
Joshua cried, "Cause the battle am in my hand".
Then the lamb, ram, sheephorns begin to blow,
And the trumpet begin to sound.
Joshua commanded the children to shout, and the walls
comes tumblin' down.

My Lord, What a Mornin'

My Lord, what a mornin', when the stars begin to fall.
You'll hear the trumpet sound to wake the nations underground.
You'll hear the sinners mourn to wake the nations underground.
You'll hear the Christians shout to wake the nations underground.
Looking to my God's right hand when the stars begin to fall.

Didn't My Lord Deliver Daniel

Didn't my Lord Daniel and why not every man?
He deliver'd Daniel from the lion's den,
Jonah from the belly of the whale,
and the Hebrew children from the fiery furnace
and why not every man?
Oh, the wind blows east and west like judgment day.
And every soul that never did pray will be glad to pray that day.
Oh, I set my foot on the gospel ship, and it began to sail.
It landed me on Canaan's shore and I won't come back no more.



第4ステージ 歌劇「タンホイザー」より

解説



「タンホイザー」あらすじ

中世の騎士であり、吟遊詩人（ドイツ中世においては、騎士もうたう習慣があった）でもあるタンホイザーは、ヴァルトブルクの領主ヘルマンの姪・エリザベートと清い愛で結ばれていたが、ふとしたことから官能の愛を求めようになり、愛欲の女神ヴェーヌスのもとで、肉欲の世界に溺れていた。

第一幕

タンホイザーはヴェーヌスベルク（ヴェーヌスの快樂世界）で快樂の日々を送っていたが、ある時、夢の中に故郷を見た思いがして、強い懷郷の念を持ち、ヴェーヌスから離れようと決心する。ヴェーヌスは、引きとめようと努力するが、タンホイザーが、聖母マリアの名を呼ぶと、ヴェーヌスベルクは、崩れ落ち、彼は、ヴァルトブルク城が見える谷にすることに気づく。羊飼の歌を聞き、巡礼の行列を見たタンホイザーは、感動のあまり涙を流す。そこに、狩りの途中の領主ヘルマンが多くの騎士をしたがえて現れる。騎士の中には、タンホイザーの親友ヴォルフラムがいた。ヴォルフラムは、タンホイザーと同じくエリザベートを愛していたが、親友タンホイザーのため、自分の気持ちを押しさえ、親友の安否を気づかいながら、エリザベートを見守っていたのである。ヴォルフラムからエリザベートのことを聞いたタンホイザーは、やっと心の安らぎを覚え、一行とともにヴァルトブルクに帰る決心をする。

第二幕

ヴァルトブルク城内にある、歌の殿堂の広間で、エリザベートがタンホイザーの帰りを知って心を弾ませている。そこへ、ヴォルフラムが、タンホイザーを連れて現れる。久しぶりに再会した二人は、喜びをかみしめる。ここで第二曲のエリザベートとタンホイザーの二重唱が歌われる。一方、ヴォルフラムは、苦しいあきらめに至らねばならない。領主ヘルマンが現われ、歌合戦が近づきつつあることを告げる。歌合戦を見に騎士や、貴婦人達が入場してくる。ここで歌われるのが第一曲の華麗な入場行進曲である。領主ヘルマンは、騎士達に、「愛の本質について」という歌の課題を与える。まず、ヴォルフラムが、「精神的な愛こそ愛である」と歌い、人々の賛同を得る。だが、次のタンホイザーが歌った歌は、歡樂を讃えるものであった。これに対し、歌人ワルター・フォン・デア・フォーゲルヴァイデが、「愛とは徳である」と、反対の歌を歌うと、むきになったタンホイザーは、「肉欲こそ愛だ」と狂気にかかられて歌いだし、ついには快樂の女神ヴェーヌスを讃えてしまう。人々は激昂し、剣や槍でタンホイザーにせまる。が、エリザベートが身を投げ出し、彼の命乞いをする。われに返ったタンホイザーは、すべてが失われたことを知って悔恨にくれ、法皇の許しを得るために、ローマへ巡礼の旅に出る。

第三幕

再び、ヴァルトブルク城が見える谷、エリザベートは、今日もタンホイザーのために、祈りをささげている。ヴォルフラムが現われ、エリザベートに同情して歌い始める。ここから第三曲が始まる。遠くから、ローマから帰ってきた巡礼の合唱が聞こえてくる。エリザベートは、巡礼達の中にタンホイザーの姿を見出そうとするが、駄目であった。絶望したエリザベートは、自分の死をもってタンホイザーを救うことを決意し、聖母マリアに熱烈な祈りの歌を歌う。これが第四曲のエリザベートの祈りである。夕闇がせまり、エリザベートの死を予感したヴォルフラムは、彼女を憂いながら、「夕星よエリザベートの道を照らせ、と第五曲の夕星の歌を歌う。そこに、疲れ切ったタンホイザーが現われ、ヴェーヌスベルクへの道をヴォルフラムに尋ねようとする。驚いたヴォルフラムは、タンホイザーにつめよる。「君は、ローマへ行ったのではないのか！」タンホイザーは、苦しいローマへの巡礼の旅について語り始める。苦難の末、ローマにたどりつき、法皇に許しを請うたタンホイザーであったが、法皇は、「ヴェーヌスベルクにおける快樂は、永遠の罪であり、枯れた杖に緑の葉が生えぬ限り、お前は、救われない。」と言い、彼を許さなかったのである。今やタンホイザーには、快樂を求めるしかなくなってしまった。ヴェーヌスが現れ、彼を迎え入れようとするが、ヴォルフラムはそれを必死に止めようとする。そこに、エリザベートの葬列が近づいてくる。ヴォルフラムがエリザベートの名を呼ぶと、タンホイザーは、狂気から目覚め、ヴェーヌスの姿は消え去る。エリザベートの魂を讃える男声合唱が、天から聞こえてくる。ここから第六曲が始まる。タンホイザーは、初めて目覚め、エリザベートの棺の傍らで、息絶える。若き巡礼達が、緑の葉の生えた杖を持ってやってくる。タンホイザーは、エリザベートの死によって救済されたのである。恩寵を讃えるハレルヤがこだまし、幕が閉じる。

1. 大行進曲

喜びにみちて我らは貴い殿堂に挨拶を送る
ここに芸術と平和は永遠に留まれ
喜ばしき叫びは長く響きわたれ
チューリンゲンの領主であるヘルマン方伯
万歳

2. 巡礼の合唱

(ヴォルフラム)
彼女はきっとここで祈っているだろうと
思っていた
私が森深い山から谷へと
さまよいおりてくると

彼女をよくここで見かけたものだった
彼は彼女の心に死の絶望を与え
激しい苦悩の中へ打ちのめしたが
彼女は日も夜も彼の救済を祈る
ああ 聖なる愛の永遠の力よ
ローマから巡礼たちが帰るのを待つ彼女
もう木の葉の落ちる頃となり

彼らの帰郷も近い
彼は救済をえた人々と共に帰るだろうか
これが彼女の問い これが彼女の願い
聖者たちよ この願いを叶えさせ給え
たとえば傷は癒えなくとも
おお せめてその痛みを和らげ給え

(エリザベート)
これこそ 彼らの歌声

(ヴォルフラム)
巡礼たちだ

(エリザベート)
彼らだ

(ヴォルフラム)
その敬虔な様子は

恩寵という救済を受けたことを告げている
(エリザベート)

彼らが帰ってきたのだ
聖者たちよ 私のなすべきことを示し給え
私は品位を保ってそれをなしとげよう

(ヴォルフラム)
ああ 神よ 彼女の心に力を与え給え

彼女に生きることを決意させるために
(合唱)

故郷よ 幸福にも 今また私は

おまえを眺め

喜びにみちて 美しい草原に挨拶をおくる

さあ 旅の杖を横たえよう

神に忠実に私は巡礼を終えたのだから

贖罪と懺悔により 私は主の怒りを和らげた

私は心を主の僕とし

主は私の悔恨に祝福を与え給い

私の歌は主のために響く

私の歌は主のために響く

恩寵として救済は贖罪者に与えられた

彼はいつの日か至福の平安の国へ

行くだろう

地獄をも 死をも 彼は恐れはしない

だから私は神を命のあらん限りたたえよう

ハレルヤ ハレルヤ

永遠に 永遠に

(エリザベート)

彼は戻ってこなかった

3. エリザベートの祈り

全能の乙女よ 私の願いを聴き容れ給え

賛えられたる御身に私は訴えます

私を御身の前にて塵と消えさせ給え

ああ この世より私を召し給え

ああ この世より私を召し給え

私を純粋なまま 天使のように

御身の至福の国へ入れさせ給え

私を純粋なまま 天使のように

御身の至福の国へ入れさせ給え

もし愚かな妄念に捕われ

私の心が御身から外れるならば

もし罪深い欲望や俗塵にまみれた欲求が

私の中に兆すときは 千の苦痛に身を背め

心の内でそれを殺します

しかし全ての過ちを贖えないのならば

どうか御慈悲で私をお召し下さい

私が謙虚な気持ちで

尊い乙女である御身に近づけますように

御身の恵みに満ちた恩寵を

彼の罪のためにお願いすることが

できますように

御身の恵みに満ちた恩寵を

彼の罪のためにお願いすることが

できますように

4. 夕星の歌

死の予感のように 夕闇が大地をおおい

黒衣で谷を包みこむ

あの高みに達しようと熱望する魂は

夜と戦慄を恐れて飛びたちかねている

この時 おまえは輝きだす おお 最愛の星よ

おまえは柔かな光を彼女よりおくり

その光は夜の闇を染めあげ

森から道をやさしく示す

ああ 私のやさしい夕星よ

私はいつも快くおまえに挨拶をおくるのだ

彼女を裏切ることのない心で

彼女がおまえの傍らを過ぎるとき

挨拶をおくれ

彼女がこの世の谷から姿を消し

至福の天使となるときに

5. フィナーレ

魂の救済は

今 敬虔な受難の娘から生まれ出た

天使こそが彼女の聖なる報い

天の喜びの勝利

清き人は聖なるかな

神の軍勢に加わりて神の前に立てり

罪人は聖なるかな

彼女は彼のために泣き

天の救いを請い願った

聖なるエリザベート 彼のために祈れ

万歳 万歳 恩寵の奇跡よ 万歳

救済はこの世に下された

それは夜の聖なる時になされ

主は奇跡によって自らをお示しになった

司祭の手に握られた枯れた杖に

主は新緑で飾られた

灼熱の地獄をさまよった罪人のために

こうして救済が新たに花開くのだ

この奇跡によって恩寵を得た男の名を

国中に呼び伝えよ

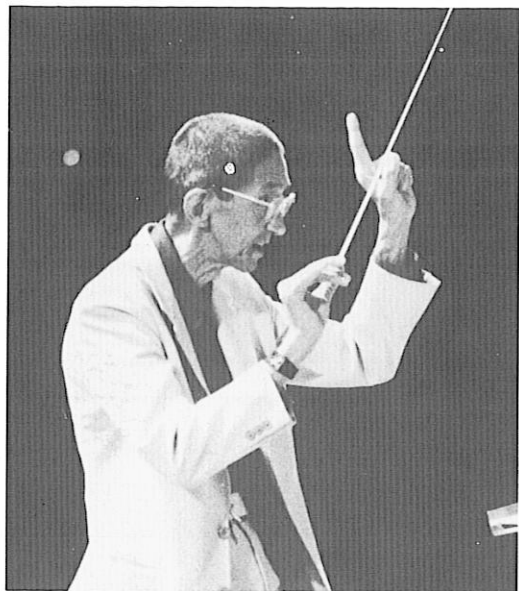
全ての世の上に神はあり

神の憐れみは嘲りではないのだ

恩寵として救済は贖罪者に与えられた

今 彼は至福の平安の中へと入ってゆく

ハレルヤ



同志社グリークラブ技術顧問 福永陽一郎

1926年神戸に生まれる。東京音楽学校（現・芸大）本科ピアノ科出身。井口基成、豊増昇氏にピアノを師事。在学中より東宝交響楽団（現・東響）で近衛秀麿氏の助手をつとめ、同氏に作曲法、指揮法、管弦楽法を師事。M・グリット氏にオペラ指揮法を師事。

1951年藤原歌劇団に入団、同団常任指揮者として、'65年まで活躍。その間同団第3次渡米公演に同行。また、'59・'61・'63・'71年のNHKイタリア・オペラ来日公演に際しては、日本側代表指揮者として参加、副指揮・合唱指揮をつとめる。歌劇指揮者として広くその名を知られる一方、合唱界においても、'52年畑中良輔氏と共に東京コラリアーズを設立し日本最高のプロの合唱団に育て、またアマチュアコースを30年にわたり積極的に指導。又、評論活動も、多くの人々から注目され著書に「演奏の時代」（紀伊国屋書店）、「正・続・私のレコード棚から」（音楽之友社）などがある。合唱用の編曲は千数百曲に及ぶ。同志社グリー、早稲田グリー、法政アカデミー他、多くの合唱団を指揮する一方、藤沢市民交響楽団の常任指揮者をつとめ、昨年の11月の藤沢市民オペラ「アイーダ」の上演は多大な反響を呼んだ。'83年同志社グリークラブヨーロッパ演奏旅行に同行。

メッセージ

別れは、のちの日の再会のために有り。

今年の私は、めずらしいことに、同志社グリークラブの定期演奏会で、指揮をしないことになりました。技術顧問という肩書で、この名門グリークラブを指揮するようになってから四半世紀を過ぎたいま、ふり返って、私が指揮しなかった定期演奏会は、一つも無い。うっかり、そう言ってしまうようになります。年表を一目見れば、すぐに判ることですが、私が指揮しなかった同志社グリークラブの「定演」が全く無かったわけではありません。しかし、そう言いそうな気がするの、は、たぶん、私の潜在願望でもあり、25年以上も続けて一つの合唱団の指揮者でいると、全部ひっくるめて、終始一貫、行動を共にしてきたような気がしてしまう。あながち、「とし」のせいで、記憶がうすれた為だけではないのです。

今年、定期演奏会の指揮をしない理由は、昨年来の私の体調が、いっこうに安定せず、団員諸君に漠然とした不安感を抱かせたことに端を発し、その不安定な気分の中で、意志の疎通がうまくゆかなくて、いくつかの行き違いが重なり、本来、グリーとしても、私の方も、望みもしなかった結論が出てしまった。まるで、結論が、結論自身で勝手に歩いて、「ピリオッドの場所」に居ついてしまった、そんな成りゆきでした。

よい音楽の演奏が当面の課題である、合唱団とその指揮者にとって、音楽創造のチャンスが、一つでも失われるのは、「残念！」のひと言では片付くような、淡白な事態ではありませんが、将来のこととしては、そう悲観することもないと考えています。指揮者と合唱団の結びつきというものは、当事者の思考方向の、接触しないまゝの交差や、一つのことを見ているのに、認識している面が別々だったりして、それが原因で、しばしば危機に瀕したのですが、我々が共有している一つの世界では、そのように脆い連帯は姿を消しています。親と子のあいだに在るような、理屈なし意識なしの、契約でもなく口約束でもない、「同じ種族」としての安心感が、大き過ぎて、かえって見えな基盤として、確実に存在している。そのような“感じ”があるように思います。

たまたま、自分の指揮しない同志社グリークラブの定期演奏会というものを、一度、覗いてみたいような好奇心が、胸の奥でモゾモゾしていますが、同時に、不安と苛々が、一種の寒気となって、ごく近くをかすめて通過する、落ち着かない状態で、定期演奏会の成功を祈っています。



同志社グリークラブ指揮者 富岡 健

大阪に生れる。同志社大学法学部卒業後、1974年より3年間ウエーン州立大学音楽学部指揮専攻科に学ぶ。その間、同校の Student Assistant として合唱、アンサンブルの授業を担当するほか、デトロイト・シンフォニー・ユース・オーケストラの指揮者団の一員として研鑽を積む。

帰国後、各地のオーケストラ、合唱団の指揮にあたる。中でもハイドン、モーツァルトの宗教音楽をオーケストラとともに積極的に取り上げている。またオペラの分野にも意欲をみせ、'84年から関西二期会の副指揮者として森正、小泉和裕、松尾葉子、手塚幸紀各氏のアシスタントを勤めるほか、喜歌劇協会、滋賀オペラ協会にも参画している。

指揮法を福永陽一郎、若杉弘、H・ラングスフォードの各氏に師事。現在、大阪芸術大学講師として指揮法、合唱を担当。

メッセージ

今日演奏いたしますヴィクトリアのミサは実は私よりも部員サイドからの強い要望によって選曲されました。ヨーロッパ演奏旅行で、各地を代表する歴史ある教会を訪れ、演奏することによって、グリーメンは、音楽を育んできた器としての教会の存在と、その暖かく豊かな響きを提供してくれる音空間に感動を覚えたようです。私達がレパートリーとして持っていったデ・プレのミサが、教会という音空間があって初めて、生命ある音楽として再現されるという驚きと発見は、ポリフォニーの音楽への興味をもグリーメンにうえつけたようです。シンフォニーホールという響きの豊かなホールで、ヨーロッパでの数多くの収穫を確認しながら、ポリフォニーを演奏したいというグリーメンの願いは無理ないことです。

タンホイザーは、私達のヨーロッパ旅行中、最も興奮したクロイツァー教会のあるドレスデンで初演されたものですが、グリーメンの多くが、オペラに開眼するという経験は、ライブチッチでの出来事でした。深夜の出発前の自由時間を利用して、数名のメンバーをオペラに誘ったところ、なんと全員が希望することになり、私達は全員で、東ドイツ最後の数時間を、ライブチッチオペラ劇場での「ホフマン物語」で過ごすことになりました。私は、グリーメンが狭い合唱の世界の動向のみに興味をもつのではなく、総合芸術と称されるオペラにも目をむけようとする彼らの姿に、正直いって、たいへん驚くとともに、とてもうれしく思いました。

今日の「タンホイザー」には、関西二期会の若くて優れた岡坊さん、塚田さんというお二人のソリストと、日本を代表するオペラプロベのピアニストでいらっしゃる戎さんをお招きして、この曲を演奏できることを、心からよろこんでいます。



ヴォイストレーナー 大久保 昭 男

昭和28年、東京芸術大学声楽科を卒業。矢田部勁吉氏に師事された。近衛秀麿指揮、青山杉作演出によるオペラ「カルメン」のモラレス役でデビュー。山田耕筈指揮、オペラ「黒船」、ドヴォルザークのオペラ「ルサルカ」などにも出演された。昭和34年にはドイツ・リート、日本歌曲による第1回リサイタルを開かれた。

現在、昭和音楽短期大学教授、東京芸術大学講師。また、慶応フグネル、上智、立教、明治、関学、同志社の各グリークラブ、早稲田コール・フリュゲル等、大学のトップクラスの合唱団のヴォイストレーナーとして、関東、関西で幅広く活躍されている。

メッセージ

第82回定期演奏会の開催を心よりお慶び申し上げます。

毎年、この時期になると各地で定期演奏会が開かれ、各合唱団それぞれの持ち味の出たすばらしい声でホールは満たされます。

その中に私はいつも合唱団の目に見えないたゆみない努力と先輩たちから受け継がれたすばらしい伝統の力という2つのものを感じます。

今宵は、この伝統ある同志社グリークラブが日ごろの成果を充分に発揮し、部員一人一人の力が1つにまとまり、美しいハーモニーが、お集りいただいたみなみなさまを魅了することを願っています。

音楽を心から歌って下さい。



ピアノ伴奏 戎 洋子

相愛大学ピアノ科卒業。
1977年大阪府民劇場奨励賞受賞。母校の相愛大学の講師として後進の指導にあたるかたわら、オペラ室内楽等の伴奏者として幅広く活躍している。特に、オペラにおける造詣が深く、関西歌劇団、関西二期会等のオペラブローベでは名伴奏者として著名であり、その透達なるアンサンブル感覚は他者の及ばぬものがある。
現在、相愛大学講師。

メッセージ

つい先日まで、私は、大のコーラス嫌いだった。というより、コーラス恐怖症という方があっている。ことわっておくが、これは、私が歌うということに関してである。実は、私の声はドレミファソまでで、あとは蚊の鳴くような声になってしまう。ところが、「君のその異常な声は女声コーラスにとって、貴重な存在になる。」と言われたのだ。ソから上は駄目でも、ドから下の方は男の人も顔まけだ。まさに、女・ザラストロ（魔笛のオペラの中のバスの役）だ。それ以来、あの恐怖症はどこへやら、ウズウズしてお声がかかるのを待ってる。その下心のおかげで、よこんでピアノを引き受けてるのかもしれない。ただ、グリーの場合、もう少し理由がある。私は、あのグリークラブの人達（もちろん男性ばかり）の礼儀正しき、気の配り方が大好きなのだ。だいたい普段の生活で、あれだけの人数の男性に囲まれ、気づかれ、折目正しく接していただけるなんてあるはずがない。そして、あの「オッサンの声」！ 私にはとても20才前後の人達の声とは思えない。しかし、オペラにはどうしても「オッサンの声」が必要なのです。オペラというのは、コーラスの良し悪しで決るかもしれない。いい歌手がいても、子供のようなコーラスで、がっかりすることはいくらかもあるのだから。

今夜、お客様より、まず、私がそのグリーの声に酔っているのかもしれない。



ソプラノ独唱 岡 坊 久美子

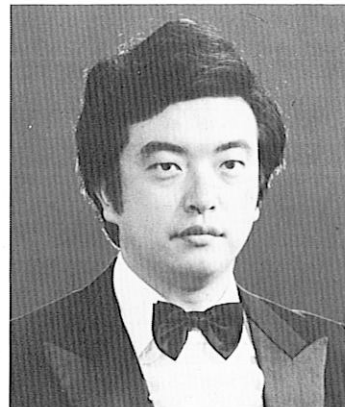
昭和55年 相愛女子大学音楽学部声楽科卒
// 56年 同 研究科、修了
オペラデビューは、57年霧島国際音楽祭、九州オペラフェスティバルに於いて、モーツァルト「コシ・ファン・トゥッテ」ドラベラ役。その後、関西二期会に於いて、ラベル「子供と呪文」（ママ・トンボ）、R・ワード「るつぼ」（日本初演）（E・プロクター）、プリテン「真夏の夜の夢」（ハーミア）、モーツァルト「コシファンツウツテ」（ドラベラ）、レハール「メリー・ウィドー」（ハンナ）、モーツァルト「フィガロの結婚」（コンテッサ）。
コンサートでは、ベートーヴェン「第九」ソプラノソロ、ヴィヴァルディ「グロリアミサ」ソプラノソロ、及び各種コンサートに出演。現在、相愛大学非常勤講師、相愛高等学校非常勤講師。関西二期会正会員、日本シブエルト協会同人。

メッセージ

今回、皆様と共に歌う機会を頂く事が出来た事を、大変光栄に存じます。特に、同志社グリークラブは、関学グリーと並び関西、いえ日本を代表するクラブだけに、私も大変緊張を覚えています。

けれども、ワーグナーの音楽を通じ、コンサートにお越し頂いたお客様と、至福の一時を得られる様、五感を働かせ、「R・ワーグナー」の音楽に、より近づきたいと思っています。そして、現代からタイムスリップして、「タンホイザー」の、崇高な世界を皆さんと築ければ、この上もなく幸せなると存じます。

そして、胸を打つ感動と興奮を、一人でも多くの方に、差し上げられる様、頑張りたいと思っています。



バリトン独唱 塚 田 康 弘

1979年、国立音楽大学卒業。1981年、国立音楽大学大学院オペラ専攻修了。
1979年、東京室内オペラ協会公演「ディドとエネアス」のエネアスを歌いオペラにデビュー。
1980年、国立音楽大学大学院公演「ドン・ジョヴァンニ」のタイトルロールを歌う。
その後、1981年、関西二期会公演「フィガロの結婚」の伯爵、1982年、「道化師」のシルヴヴィオ、「外套」のミケーレ、1983年、東京オペラプロデュース大阪公演「黄金の国」の平田主膳、1986年、「蝶々夫人」のシャープレスを歌い、その恵まれた体軀と張りのあるバリトンの声質をもっての公演は常に高く評価されている。
また、1984年にはバリトン独唱会、1985年、マタイ受難曲のソロを歌いコンサート歌手としても好評を博す。畑中良輔、原田茂生両氏に師事。
関西二期会正会員、音楽学会会員、昭和60年度文部省科学研究員、神戸学院女子短期大学専任講師、神戸山手女子短期大学音楽科講師。

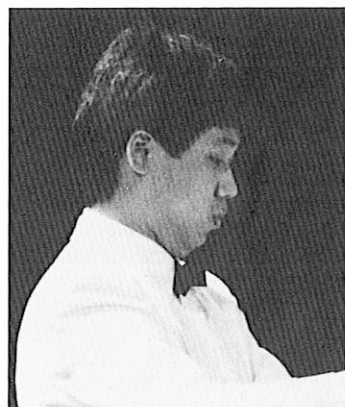
メッセージ

本日、関西はもとより日本を代表するグリー「同志社グリークラブ」の皆様と協演できますことは私のかねてからの念願でありました。

ワーグナーの不朽の名作「タンホイザー」は私にとりまして大変思いでの深い作品でもあります。何と云っても男声合唱の醍醐味は筆舌に尽くします。

今夜は重唱と有名なヴォルフラムのアリアを82回と云う長い定期演奏会の歴史と伝統のある同志社グリークラブのみなさんと歌いあげ、ワーグナーの世界を皆様と共に共有できることを大変嬉しく思います。

最後に「同志社グリークラブ」のますますの御発展と御活躍を、お祈り申し上げます。



第55代学生指揮者 中 村 洋

1965年2月17日京都にて生れる。6才頃よりピアノを習いはじめ同志社中学に入学するまでは、医者になりたかったらしい。しかし中学、高校と合唱の泥沼にはまり高校の時には副指揮とパートリーダーをしていた。同志社大学文学部入学と同時にグリークラブに入部、バカ声が生かされて一年の第79回定演や二年の第33回四連において早くもソロを歌う。
1986年1月第55代学生指揮者に就任。同年2月末～3月初旬の第2回ヨーロッパ演奏旅行に学指揮として参加。先日の6連において踊るニグロでブラボーのやえさくらがとびかった。今日はプーさんのラストソングを聞いている。ちなみに今日の定演終了後は、ぬいぐるみを着がえて普通のグリーメンにもどるのだとき……。
P.S ガーンと一発たのみます!!（本人より。）

「小さな宝石箱」

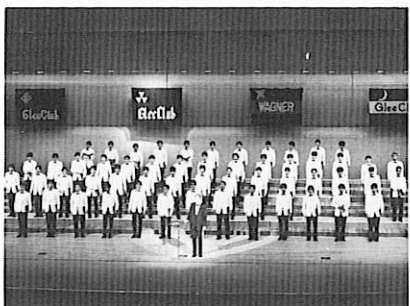
私が物心も覚つかない頃、部屋には散らばった積木やミニカーとともに、白と黒のだんだらの大きな器があって何となくそこに手をのせると不思議な音がした。どこを押しても色々な音がして、気がついたらもっと美しいピアノの音色が欲しいと子供心にも思っていたのだろう……。動機はどうであれ、音楽に興味を持つという原体験は誰しもが持ち合わせている事であろう。頭の中に「小さな、宝石箱」として印象づけられたこの体験は、グリークラブのメンバーである現在も、遙かなる映像として私の中に息吹き続けているのである。ところがこのクラブには、十人十色と言えるような所があり、創造力を引き出すには道のりが遠いようである。美しき音楽を創り上げるには、当然と言える事に手が行き届いた練習が必要であるのだが、音符のキャンパスの内に深く言及していくには、もっと単純な感動があってもいいと思う。今春の欧州演奏旅行に参加した時の事であるが、黄昏のケルン大聖堂前の広場で若いトランペッターが、Yesterdayを奏でていた。周囲には、家路を急ぐ雑踏と共に人垣が出来上がり、優しい音色が刺すような外気をも毛布のように包み込んでいるように思えた。今年の同志社グリーは、一人一人が熱心に練習に取り組んでくれて、私は、本当に心から感謝している。だからこそ、本物への夢を頭に、そして心には各自が「小さな宝石箱」を抱き続けて欲しいと願っている。極く単純な話ではあるのですが、あなたの場合はどうでしょうか……。



フェアウェルコンサート



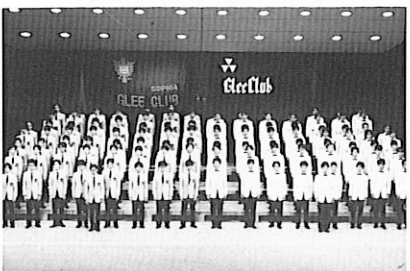
京都合唱祭



東西四大学演奏会



同志社グリークラブOB会
創立十周年記念演奏会



演奏旅行

●フェアウェルコンサート

一年を通じて、グリーライフの中でもっとも大切にしたいコンサート。それはフェアウェルコンサートです。
今年も、26人の卒団生を送り出しました。下級生が「You'll Never Walk Alone」を歌い始めると、卒団生、下級生との胸の中には、さまざまな想いがかけめぐり、なみだなみだとなります。
卒団生みんなが、新しい道を力強く歩んでほしいという願いをもって。

●春合宿 & 夏合宿

風光明媚、温暖の地、瀬戸内海国立公園の一角、和歌山は紀淡海峡を望む岬の突端。加太国民休暇村「城ヶ崎荘」で今年春合宿を行った。この合宿地は、練習しにくいグリーメンにとって、まさにうってつけの場所であった。ここで我々は、東西四連に向けてスタートを切ったのであった。食事が良かったこともあり、合宿で減量宣言した外政 I.U. Bari サブ P.L.Y は、逆に体重がふえたのは言うまでもない。
次に夏合宿であるが、信濃平にある「グリーンシャトーみやざわ」で行った。90名程のグリーメンを収容するには少し狭ったが、人の良いおばさんにお世話になりっぱなしであった。そして最終日前夜、雨の降りしき中で、おごそかに洗礼式が行われた。この結果 1 回生は、立派なグリーメンに変身したのであった。

●オリエンテーション

このオリエンテーションに明日のグリーを担う新人獲得作戦を繰り広げます。今年から、田辺校地が開講されたため、田辺で新歓活動を行いました。例によってステージコートに身をつつんだまでは良かったが、新入女子大生からバカにされました。また、新入男子学生は、逃げ回ってくれます。それでも我々は、「まあ、お茶でも...」「メシ食お、メシ...」を連発し、1 回生30数名獲得したのであった。しかし、その陰には、春のバイト料がすべてなくなったものや、借金してまでおごり、首が回らなくなったものがあります。
なにはともあれ、明日の同グリの発展を期す私達でありました。
(女の子を勧誘したいまともな男。)

●京都合唱祭

今年も京都府会館に於いて、盛大に合唱祭が行われた。出番が4 時頃ということもあって、十分な発声が出来、そして素晴らしい演奏ができ、部員一同満足しております。
ところで今年の同グリは、連盟合同に約30人が出演し、連盟関係者を驚かせました。このようなこともあり、関屋先生の指揮のもと、「祈りの虹」を演奏しおえた部員の中には、やっぱり混声が良いと叫ぶものも現れました。来年も頑張りますので宜しくお願いします。

●東西四大学合唱演奏会

さあやってきました、一年間の中で最も力を入れた行事の一つ「四連」。
今年は大阪フェスティバルホールで、東京より、早稲田大学グリークラブと慶義塾ワグネルソサエティー男声合唱団を迎

え盛大に行われました。
まず第一に私たちグリーメンを燃えさせるのはエール交歓です。
他の三団のエールが演奏されるたびに、「今年もやったる」とこぶしに力が入ります。
今年、福永陽一郎先生に「ドイツ民謡集—新しい合唱のスタンダードを求めて—」という小曲集を指揮していただき好評のうちに幕を閉じました。当然他の三団も素晴らしい演奏でフェスティバルホールを感動の渦に巻きこみました。
演奏会後の行動はといいますと、私共、同志社グリーメンがいやがる慶義と関学を悪友早稲田の手を借り京都三条にこの日はかりはと連れてきました。
それから四団入り乱れ鴨川で水遊びをしたことは言うまでもありません。
異様によこぶ同志社グリーメンの顔を見て、私は変な気持ちになりました。

●同志社グリークラブOB会 創立十周年記念演奏会

OB合唱団「クローバークラブ」は昭和21年に誕生し、40年を超える歴史を持っていますが、一方、OB会としての組織が出来たのは昭和52年からになります。今年OB会創立から10周年目に当り、これを記念する演奏会に現役も同席させて頂きました。
OB会といえは、現役グリークラブにとっては、いい「おやじさん」です。息子はどうしても乗り越えられない壁に突き当たったときには、必ず親身になって相談に乗ってくれます。今までも、そのお陰で危機を乗り越えてきたことが幾度もあったことと思います。けれども決して甘やかしてはくれません。OB会の情報網がどのようになっているのかよくわかりませんが、その、特に現役に関する情報力には、いつも舌をまかされます。息子の顔色からすべてがわかるのでしょうか？ 元気のいい時は勇気づけてくれ、また、たるんでいる時には、きびしい助言が飛んできます。時に頑固そうな面を見るときもありますが、本当にいい「おやじさん」です。
今回の演奏会は、一昨年の80周年記念演奏会以来の、OBとのジョイント。自分たちの生まれた年が卒団年度というOBの方々もおられる中で、一緒に歌った合同演奏では、長年変らぬ「同グリトーン」を感じて、複雑な気持ちになるのではした。

●演奏旅行

60年8月、Boxに1 通の手紙が届いた。上智大学グリークラブS氏から「来年の夏、名古屋で演奏旅行を兼ねて Joint をしましょう」というものだった。「6年前もしたし、うちの Sec O氏とあつたのK氏が名古屋の高校の同級生やから、ええんちゃう」と安易にしがらみを求めて名古屋で上智との Joint が8 月3 日に開催されることになった。……
さて、演奏会前日に名古屋駅に着いた両団はまず駅構内で熱いエール交歓を行い、駅員に注意を受けました。当日は心配していたお客様の入りもまずまずで、両団とも熱演しました。そのあとのレセプションでも飲みや歌えやのお祭り騒ぎで、他団のお客様にひんしゅくをかいたながらも完全燃焼してしまいました。ました。ました。
このように名古屋という地で演奏会を無事成功におさめることができたのも南山大学メルクワイヤー、南山大学女声コーラスをはじめとする東海地方の各大学の

方々のご支援、ご協力の結果でありまして、大変感謝しております。
ちなみに、欧州演奏旅行とこの Joint の成功によりマネージャーU氏は前チーフが「マネージの父」と呼ばれていたことと、氏自身が〇〇をさわることを好むことから「マネージの息子」と語り継がれることになりました。
P.S. 来年は福山、出雲、福井に行きます。

●福永陽一郎還暦記念コンサート

前夜の東京クローバークラブの歓迎会の翌9月13日、新宿厚生年金会館大ホールに我々は集合した。今日、ここで福永陽一郎先生の還暦記念コンサート「陽ちゃんといっしょ」が行なわれる。日本中から陽ちゃんファミリー9 団体が集い、音楽界の一大イベントを繰り広げるのだ。同志社のステージが終わった。山田耕筈集は素晴らしい名演だった。合同ステージは、先生の似顔絵のついたTシャツを全員着ての演奏。フィンランディアとハレルヤコーラスはブラボーの連続。
この日は、日本の合唱界をリードしてきた福永先生をお祝いする演奏会。畑中良輔、北村協一両先生をはじめ、初代東京コリアーズのメンバーも集い、日本の合唱の歴史がそこにはあった。まさに日本の合唱史にいつまでも残る演奏会になることだろう。そして記念パンフには先生の自伝もあり、陽ちゃん先生の人生イコール日本の合唱の歴史なのだ。私などはひたすら感激。先生、おめでとうございます。そして今後ともよろしく願いたします。私たちの陽ちゃん先生へ。
そしてその夜、同グリは早稲田に連れられて歌舞伎町へと消えていったのであった。
P.S. 記念パンフ有。詳しくは同グリへ。

●関西六大学合唱演奏会

11月2日、フェスティバルホールに於いて今年も第13回関西六大学合唱演奏会が盛況のうちに幕を下しました。中村洋一氏の我が同志社グリークラブは、今年トリということもあって団員一同例年になく燃えてホール入りしました。
単独では、「7 Negro Spirituals」を持ち前のヴァイタリティで演奏し、会場を興奮の渦に陥れ入れましたが、その独特のリズムに乗れず、苦しまぎれに手足をバタバタさせる者や、ブレスが上がりっぱなしで息も絶え絶えの者もいたりなかなか苦労も多かったようです。また、合同では、合唱界の重鎮である関屋晋先生、ピアノ伴奏に長田育忠先生をお迎えして「岬の聲」を演奏する機会を持って、部員一同、先生の深い音楽性に触れることが出来、実り多い演奏会となりました。

●お座敷

私共はコンサートの他に、テレビ・ラジオ出演、パーティー、結婚式、そして学校の音楽鑑賞会に出演しております。今年から今出川、田辺の両校地に分断された為にハードな練習日程の間をぬっての出演で大変でしたが、1 人でも多くの同グリの演奏を聴いて頂きたいという信念の下で、精力的に取り組んでまいりました。また、お座敷はクラブの会計を支える重要な柱でもあります。
今年、同志社グリークラブを呼んで下さった皆様、本当にありがとうございました。我々は、日本全国どこへでも出張致します

ので気軽にお電話下さい。075 (451) 9725 (呼)新町別館5F グリークラブまで

●合コン・合ハイ

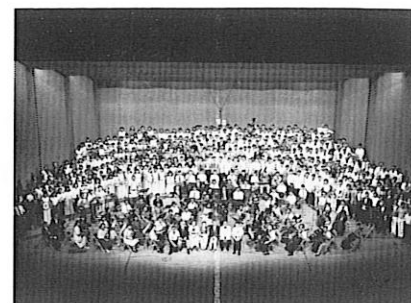
年間を通じてほとんどの放課後を音楽と男だけの世界で過ごすグリーメンにとって、彼女の有無にかかわらず欲求不満の最大のハケ口は、やはり合コンでしょう。今年は合コンの主力1・2 回生の田辺移転という困難にもかかわらず、精力的に大阪・京都の居酒屋、パブへとくりだしていきました。今年1 年、同グリと一緒に遊んでくださった女子大の皆さん、本当にどうもありがとうございました。
前期の合コンで特筆すべきは、やはり1 回生の活躍でしょう。今年の1 回生はグリーメンには珍らしくオシャレな者や踊りの上手な者が多く、ただひたすら盛りあがるだけの2・3 回生を尻目に大人の雰囲気や隣のGal を口説くという場面も少なくありませんでした。後期からは、初体験が相次ぎ(当然、合コン相手としてのです)、また比較的、少人数のコンパが多かったせいか、参加者全員が「おともだち。という具合に皆それぞれに楽しんだようです。
紳士的でハイセンスという今までのイメージに加え、ちょっぴり危険な雰囲気も漂わせはじめた同志社グリークラブ。女子大生の皆さん(もちろん女子中・高生・〇〇の方)も、狙うなら、はっきり言って今がチャンスですよ。

●同関交歓会

今年、もうないのではないかとささやかれた同関交歓ソフトボール大会。でも、しっかりありました。
10月4日の夜、京都にのりこんできたKGグリーメンたち、その夜は、同志社グリーメンの下宿に宿しました。
いやいやつれられて行くもの、激怒しているものいろいろありました。
さて次の日は、気の毒にもKGグリーメンは、同志社の新キャンパス田辺のグラウンドへつれてこられてしまいました。(ちなみに京都駅から興戸まで約40分)つかれたが、KG、今年も、少なからずの抵抗はみせたものの、準決勝ですべてのチームがやぶれてしまうという結果になりました。
やっぱり同グリはスポーツサークルかな?と思う今日この頃でした。

●全同志社メサイア演奏会

1965年、同志社創立90周年を記念して、戦後、一時中断されていたメサイア演奏会が復活しました。その後20年余り、毎年、年末には「全同志社メサイア演奏会」が開催され、多くのお客様から御支持を頂いてきました。現在では京都の年末の文化行事として、定着し、毎年、満員のお客様と共に Christmas をお祝いできる事は、Glee Menにとって、大変喜ばしい事です。
今年の「第22回全同志社メサイア演奏会」は、12月24日(水)、京都府会館第1ホールで18時開演です。同志社女子大学メサイア研究会、同志社交響楽団のメンバーと共に、皆様の御来場をお待ちしています。



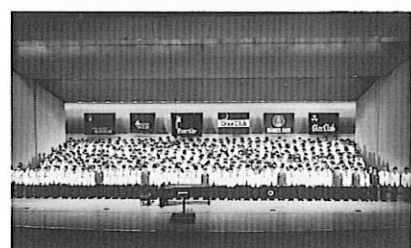
福永陽一郎還暦記念コンサート



合コン・合ハイ



同関交歓会



関西六大学合唱演奏会



全同志社メサイア演奏会

▼ Konzertreise Europa 1986

マインツ



2月20日木曜日、大阪空港に集合。多くの先生、先輩たちや他団の人たち、それに旅行に参加できない仲間たちの見送りを嬉しく思いながら、カレッジソングを歌っていざ出発。飛行機に乗ること約18時間。途中、デュッセルドルフに着陸中、機内でデモ演奏をし早くも外国人の同グリップファンをつくる。最初の訪問地はマインツ。マインツ大学の大学礼拝に聖歌隊として参列。教会に着いてあまりの大きさに驚き、歌ってみてあまりの素晴らしい音響にまた驚く。

東ベルリン



3月1日、いよいよ西ドイツを離れ、東ドイツへとたつ。飛行機で西ドイツへ到着後、迎えに来ていた東ドイツのバスに乗る。ベルリンの壁を越えるときに1時間ほど待たされ、やっと入国。しかし風景の違いに驚かされる。華やかだった西ドイツの街とは対照的で、街全体に色彩が乏しく古びている。戦争で爆撃を受けたまま未だに修復されない建物も目立った。かの有名なウンテル・デン・リンデンを歩いても、印象的だったことは、人影の少なさと自動車のクラシック的といえる古さと肌を刺すような寒さばかりであった。ここでは翌朝、教会の日曜礼拝に参列。社会主義国にもかかわらず、早朝の礼拝堂は熱心なクリスチャンで一杯になった。

ライプチヒ



ここにはJ. S. バッハが音楽監督を務めた聖トーマス教会がある。私たちはこの教会での演奏会を夢見、出発前に準備を進めてきたが、残念ながら実現はできなかった。しかし牧師さんのご好意で教会を見学する許可があり、バッハの墓がある祭壇の上に立ち、わずかな地元の神学生たちを前にして、数曲歌うことができた。その後、牧師さんと神学生らと交えて座談会を行ない、教会を後にした。いつか後輩たちが正式な演奏会を実現してくれることを願いつつ。次の日、オペラハウスで歌劇「ホフマン物語」を鑑賞。さすがプロはうまい。

マンハイム



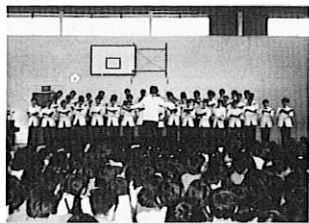
マンハイムではみんなドキドキしていた。何故かというところでは最初のホームステイがあるからだ。マタイ教会でバツハ・ギムナジウムと交歓演奏会を行なった後、歓迎会を催してくださり、そこでホスト・ファミリーと対面。美しい女性がいる家庭に行けたのはラッキー、不幸にもモヒカン刈りの本場パンクちゃんの家になってしまった者もいた。随分とかわいがってもらったことだろう。新婚家庭に泊まったばかりに、邪魔になるからといって寒い夜に追い出された者もいた。しかし大方は、とても親切な人たちがばかりで、非常に良くしてくださって、帰国後もずっと手紙のやりとりが続いている部員も少なからずいる。

ハイデルベルク



アルト・ハイデルベルク。旅行者に人気のあるドイツの中でも特に愛されている地であろう。山の腹にそびえ立つハイデルベルク城の眺めは素晴らしい。またこの大学は非常に歴史があり、今年でちょうど、600周年。その大学の音楽部の教授であるW. ダルマン先生のご協力で教会コンサートを行なうことができた。滞在中お世話になったハイデルベルクに留学中の日本人女性が、私たちの歌う日本の歌を聞いていて涙を見せたのが印象的であった。夜はホームステイ。お城のそばの大家宅で眠っている自分が信じられなかった。

デュッセルドルフ



デュッセルドルフは日本の企業が数多く進出しているために、日本人が非常に多い。ここで私たちは、1000人もの学童が学んでいる日本人学校で演奏会を行なった。場所は体育館で一度に全生徒を収容できないので二部構成で行なったが、生徒たちの他にも父兄や一般の日本人の方たちが数多く観に来てくださった。演奏曲目はいつもと違い日本の曲を中心としたもので、皆さん大変喜んでくださり、また富岡先生のユーモラスな司会が一層、会場の雰囲気盛り上げた。尚、デュッセルドルフは西ドイツ最後の訪問地ということで、この夜、街にくくり出した者も少なからずいたが、希望がなかった者は誰もいない。

ドレスデン



東ドイツの中でも最も美しく文化的な地ドレスデン。ここには、750年の歴史を持ち、世界的な声楽家のP・シュライヤーやT・アダムを生み出した聖十字架合唱団がある。この合唱団を持つ聖十字架教会で私たちは演奏会を行なうことができた。観客も1500人は来ていただろうか。ドーム型の非常に高い天井には巨大な十字架の絵が描かれており、私たちの歌声はすべてそこへ吸い込まれていき、礼拝堂の中はとて豊かな響きで包まれた。演奏会は大成功、アンコールが終わって退場するときもずっと拍手が鳴り止まなかった。その夜、エルベ川のほとりのホテルでバイオリンの演奏を聞きながらの夕食はホントに最高だったなあ!

チューリヒ・リシュリコン



チューリヒではスイス最大の聖堂であるグロスミュンスターの日曜礼拝に参列。宗教曲を歌い、礼拝後にすっかりおなじみになった同志社大学教授シュベネマン先生の司会で日本の歌曲を歌う。そして同じ日にウンターシュトラス教会で演奏会。教会のオルガニストの伴奏で昨年の定演のプログラムであったLob der Musik も歌った。次の日、チューリヒ近郊の町であるリシュリコンで最後の演奏会。その夜ホテルで打ち上げパーティ。みんな旅の思い出を大いに語り合った。この22日間、多くの素晴らしい演奏会を経験し、またいろんな地に訪れ数多くの人たちと出会った。それらの思い出をすべてあげるととても枚挙にいとまがなく残念だが、とにかく実に有意義でかつ楽しい旅行であった。



飛行機で偶然にもかの有名な若杉弘と同乗、アンカレッジにて記念撮影(その他、ハンブルク・バレエ団一行や立川談志も一緒でした)



マインツの大劇場の前で団旗をかけて大合唱 通行人たちの大喝采を受ける



ライン川船の旅にいざ出発!



同志社大学の姉妹校であるマインツ大学にて大学長主催のレセプションに出席



ワインハウスで大合唱、居あわせたご婦人たちが大変喜ばれて、お金まで寄附してくださいました。感謝、感激!



ホストファミリーと団乗する現幹事長の梅田君、グリーンメン同、ホームステイにはさまざまな思い出があることでしょう



君は見たか! ベルリンの壁を……



サンスーシ宮殿にて二人の美女は東独滞在中ずっと同行してくださいました日本語ペラペラのガイドさん



J・S・バッハの墓の前で跪いて最敬礼する富岡先生



スイス・アインジーゼルの修道院の前で牧師さんたちが私たちのためにマッターホルンを演奏



スイス・ミッション会長ヒッツさんへ前幹事長高梨君から記念品の贈呈(尚、この写真の中には、トップ4回生M君の最愛の恋人がいます)

目標を決めて、さっそく積み立てを始めましょう。

きっぷ1枚から海外旅行まで

旅行券の使い途はとってもワイド

たびたび

日本交通公社 京都支店

運輸大臣登録一般旅行業第64号

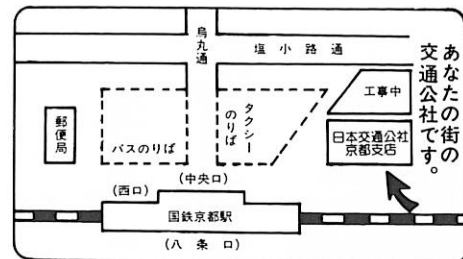
〒600 京都市下京区東塩小路町

たびたび のお問合せ

☎075-341-2141へ

この前払いプランは

- ①ラクラク毎月積立て。
そのうえサービス額もつきます。
- ②お支払いは便利な自動引落し。
- ③積立期間は6ヵ月から60ヵ月のうち
自由設定で。
- ④お求めいただく旅行券の使い道は
ワイドです。
- ⑤個人旅行から団体旅行まで
すべてのプランに
- ⑥一時払いコースもあります。



SAM Records

●レコード・テープに残しておきたいあらゆる企画に御用命下さい●

録音全般・各種レコード製作

株式会社阪神ライフレコーディング

〒651 神戸市中央区上筒井通5丁目2番10号 ☎(078)241-1899(代)

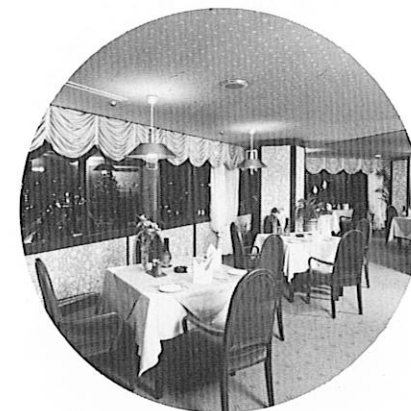
PS osaka photo

(株)大阪フォト サービス カンパニー

〒550 大阪市西区江之子島1丁目5-17
TEL 06(443)7608(代表)

ラ、メ、ル、で、お、食、事、を

フランス料理を
こころゆくまで
お楽しみ下さい。



煌めく 夜景を
ながめながら
ヨーロッパで修業を重ねた
シェフ井上孝雄の

フランス料理

ラメール

—南館9F—

京都ホテル

京都市中京区河原町御池 ☎(075)211-5111

●11:30am~2:00pm
●5:00pm~10:00pm



第82回 同志社グリークラブ定期演奏会

有限会社太陽社 創業25周年

翔べ! 若武者グリーンメン!!

今日の日は君たちのすばらしい明日へのワンステップです。

演奏会パンフレット・テレフォンカードの御用命は

高速情報処理印刷 有限会社 **太陽社**

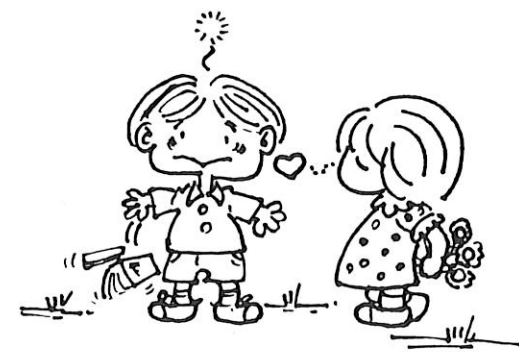
〒543 大阪市天王寺区大道3丁目1番30号

TEL (06) 779-7618 (代)

FAX (06) 779-2163

あなたの街の玉姫殿

♡好き♡ と言ってから勝負。



あわい恋が

あまい愛に色ずいたら...

ブライドスクエア

梅田 **玉姫殿**

大阪市北区鶴野町4-16
TEL (06) 374-3333(代)



The Symphony Hall

なにかが変わる。予感が聴こえる。

■オルガン

スイス・クーン社製。54ストップ。オルガンを扱う楽曲が理想の姿で演奏できます。

■アリーナ・シアター

残響2秒、ピロードの響きがすべての席を覆いつくし、ステージと客席は一つに溶けあいます。

■グランド・ホワイエ

中央に吹き抜けを持つ二層の優美な空間。音楽へと続くプロムナードです。展示会や小さな集会もできます。



ザ・シンフォニーホール

朝日放送

〒531 大阪市大淀区大淀南2丁目

ご利用のお問合せ 06-453-1010

入場券のお問合せ 06-453-6000



学生専科

★青春フル回転合宿のスイッチON
★幹事さんバンザイ三唱まちがいなし

合宿

お申し込みは?

FREE
フリーウェイ

WAVE デスク

京都府知事登録第6号



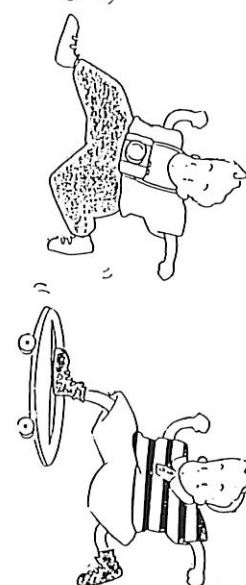
日本教育旅行

京都市下京区烏丸七条上ル一筋目東入ル100m

- 安心感100%
- 満足感100%

☎075(351)0405

大阪地区受付 ☎06(708)4646





からだに健康メッセージ

ビタミンE+C+B₂

ビトン-ハイ E C B₂

のみやすい 顆粒です。



包装：30包、90包 医薬品

ビトン-ハイのビタミンEは天然型です。血管に悪影響をおよぼすといわれる過酸化脂質の増加を防ぎ、ビタミンC、ビタミンB₂酪酸エステルはその作用を高めます。

ビトン-ハイは、こんな方に特にすすめます。

- 肩こり、頭痛など更年期症状の方 ●手足のしびれを感じる方
- 冷え症が出やすい方

天然型ビタミンE製剤 ビタミンC・B₂配合

ビトン-ハイ

10
准
1

＜効能＞●末梢血行障害による冷え症・手足のしびれ・しもやけの緩和 ●更年期における肩こり・頭痛・頭重・不眠の緩和 ●月経不順

メンバー紹介

名誉顧問	片桐 哲	幹事	梅田 隆司	演奏旅行	万代 優	学生指揮者	中村 洋
顧問	遠藤 彰	内政	青木 陽介	サ ブ	野村 英也	学生副指揮者	武内 和朋
技術顧問	渋谷 昭彦	外政	上村 直也	資料OB	大塚 正高	TOP.P.L.	富倉 智彦
指揮者	福永陽一郎		石井 元博	OBサブ	野村 忠司	サ ブ	八幡 諭
ヴォイストレーナー	富岡 健		辻本林一郎	資料サブ	辰己 昇	SEC.PLサブ	奥村 圭二
	大久保昭男	サ ブ	西川 善大	ステージ	奥村 康彦	BAR.P.L	山口 明彦
			中西 智久	サ ブ	瀬戸 正己	サ ブ	吉岡 康彦
		会 計	安池 倫成	文連常任	大島 直哉	BASS.P.Lサブ	森藤 泰生
			井上 裕文	メサイア	干場 一博		
		サ ブ	中西 健		佐伯 盛一		
			土居 敬幸	サ ブ	木寅 潤一		
			高瀬 毅		古川 偉久		



Top Tenor

富倉 智彦 (工4)	同志社香里	松本 裕士 (工4)	同志社香里	三宅 厚志 (法4)	浦 和	山下 浩司 (経4)	関西大倉
前川 立弥 (商4)	関西大倉	八幡 諭 (商3)	県立戸屋	石井 元博 (商3)	同志社香里	中西 健 (商3)	伊 勢
干場 一博 (工3)	京大付属	桃井 茂樹 (法3)	安 積	加藤 由孝 (法2)	名古屋学院	松本 千尋 (文2)	川 越
野村 英也 (商2)	広島井口	橋上 慎二 (法2)	同志社	木寅 潤一 (法2)	同志社香里	中西 智久 (法2)	桂
大島 直哉 (文2)	緑 岡	廣島 映一 (商1)	甲 府 東	桑原 忠司 (法1)	西 条	永田 智典 (文1)	高 槻
高橋 寛 (文1)	同志社香里	花牟礼武司 (法1)	箕 面	今井 英樹 (工1)	豊 中	伊藤 彰敏 (法1)	名大附属
長通 智行 (文1)	舟 入	津田 潤 (文1)	西 宮 北				

Second Tenor

大野 浩一 (工4)	愛 光	杉田 政治 (工4)	同志社香里	高梨 純 (法4)	東 豊 中	奥村 圭司 (商3)	名古屋市立北
藤本 俊孝 (経3)	今 治 西	万代 優 (経3)	東 山	奥村 康彦 (商3)	菊 里	吉田 照彦 (工3)	比 叡 山
林 桂三 (工3)	瑞 陵	大塚 正高 (商3)	長 良	土居 敬幸 (経2)	大 手	瀬戸 正己 (文2)	長 田
板木 義博 (経2)	泉 陽	田中 祐之 (文2)	乙 訓	安池 倫成 (商2)	静 岡	石井 英次 (法1)	丹 羽
堤 大輔 (法1)	宇治山田	小川 和博 (商1)	高 松 商	田中 敦 (商1)	舟 入	矢橋 謙二 (商1)	大 垣 西
伊東 恵司 (経1)	嵯 峨 野						

Baritone

山口 明彦 (工4)	高 松 西	梅村 雅彦 (経4)	門 真 西	奥野 和敏 (商4)	上 宮	内山 透 (法4)	三 島
吉岡 康彦 (法3)	若 狭	辻本林一郎 (商3)	津 西	梅田 隆司 (経3)	北 野	佐々木義治 (商3)	彦 根 東
上村 直也 (文3)	福 岡	古川 偉久 (経2)	東 海	西川 善大 (経2)	関西大倉	高瀬 毅 (工2)	金沢二水
金森 勝徳 (商2)	春日井	野村 忠司 (工2)	向 陽	辰己 昇 (商2)	清 風	新井 正 (法1)	桃山学院
木村 光広 (法1)	寝 屋 川	桑野 博之 (法1)	田 川	橋 直紀 (商1)	小 松	古谷 勝一 (商1)	磐 城
栗田 陽一 (文1)	西 条	佐土原陽二 (文1)	別府鶴見丘	高岡 一弥 (文1)	八 鹿		

Bass

中村 明彦 (文4)	同志社	杉山 慎一 (経4)	同志社香里	中村 茂晴 (工4)	山 崎	森藤 泰生 (商3)	丸 亀
井上 裕文 (商3)	龍 野	真鍋富太郎 (経3)	観音寺第一	沖原 吉広 (経3)	茨 木	佐伯 盛一 (文3)	同志社香里
青木 陽介 (商3)	箕 面	武内 和朋 (文3)	日 田	内田 勲 (商2)	広島井口	雨宮 信 (文2)	都立三鷹
三谷 洋司 (法1)	乙 訓	佐々木昭憲 (法1)	池 田	田端 信哉 (法1)	芥 川	山本 徹也 (工1)	舟 入
雲 博之 (商1)	春日丘	岡村 健二 (文1)	熊 谷	佐藤 健司 (商1)	札幌藻岩	田原 邦昭 (商1)	大分上野丘
吉田 康介 (法1)	桃山学院						

5,000m²の屋外アイスジャンボステージ!!

生駒山上スケートリンク

近鉄

好評開催中! 3月8日頃まで

連日夜9時までナイター営業
(休日の前日は10時まで)

■営業時間/10時~21時
平日・祝日の前日と1月1・2日は22時まで、11月30日は、11時から営業。
また12月31日は22時からオールナイト営業。★天候、その他の理由
で営業を一時休止、又は変更することがあります。

■一般滑走料金(フリーダム制)

	平 日	日・祝日
おとな	1,200円	1,500円
中高生	1,000円	1,300円
こども	800円	1,000円

- 団体割引...一般/25人以上2割引
学校(観戦込み)/25人以上
5割引(日祝日と1月2・3日は除く)
- 観戦料金(1足1回)500円、観戦席料
(1人)100円、コインロッカー使用料
(1回)100円、お持ち込みはフイギュア、
カメラ、ハーブに限りません。

- お問合せ・団体のお申込みは—
近鉄興業 営業推進部 ☎06(772)3195
生駒山上スケートリンク ☎07437(5)5412
近鉄主要駅・近鉄日本ツーリスト

割引滑走券付乗車券は、期間中近鉄主要駅で発売

- 近鉄生駒のりかえ、ケーブル生駒山上駅下車、生駒山上遊園地駐車場内



阪奈道路から信貴生駒スカイライン ●通行料(普通乗用車往復・登山口から)生駒山上へは...600円、宝山寺へは...600円、信貴山へは...1,600円(生駒山上、宝山寺、信貴山に大駐車場完備)

今春以来、今出川と田辺に同志社のキャンパスは分断され、私たちグリーもいろいろな困難にぶつかりました。試行錯誤を繰り返し今日の定期演奏会に至ったという感じです。パンフレット編集の方も同様でした。今やっと出来上がりホッとしております。

しかし、何よりも、心よくメッセージをくださった諸先生方、広告をくださった方々、そして、いろいろパンフレットについて御尽力くださいました太陽社の平井、楊井両氏と、表紙絵を画いて下さった坂田さんに心より感謝をいたします。ありがとうございました。

今後も、いろいろな面において、私たち同志社グリークラブに御指導、御鞭撻をよろしくお願いいたします。

1986年12月

同志社グリークラブ外政マネージャー

上村直也 西川善大

石井元博 中西智久

辻本林一郎 安池倫成



第82回定期演奏会の御開催を心より祝福いたしております。今回ご縁があって、伝統あるグリークラブのために表紙絵を描かせていただいたことは、私にとって大変光栄なことでした。貴クラブのヨーロッパ演奏旅行などの御活躍は、同じ同志社大生として誇らしいことで、皆様の今後の増々の御発展を願ってやみません。

同志社大学 クラマ画会
坂田直裕

同志社グリークラブ 月 第82回卒業生のための送別演奏会 ♪

1986年2月14日(土) 5:30PM 開演

同志社大学会館ホール (入場無料)

●ご宴会用献立●

2,000円コース

献立は鍋料理 (煮しや・煮込み・煮物・かしら・土曜・日曜・祭日と・その前日は除く)

2,500円コース

すきやき・しゃぶしゃぶ・よせなべ・鳥水だし (税・サービス料込み) (酒1本付)

飲み・食べ放題コース (2時間)

3,500円コース

焼肉・鳥・豚の水だし (税・サービス料込み) (酒1本付)

※ その他ご予算に応じましてご用意致しますのでご相談下さいませ。
※ 当店では座敷料・サービス料は各料金に含まれております。

いらっしやい! 旧上海三条店の伝統を守る、のうだんまんるい。おなじみのしき・おなじみのボリュームすべてを打撃・場所も京のど真中。延長戦も安心の店です。どうぞ、ごいそに!



(旧上海三条店) 三条河原町上ル一筋目東入ル

ご予約電話 (075) 221-8080

若さが、フロンティアだ。

大人たちの批判的な視線が、
若者たちの喝采にかき消された時、
ひとつの文化が生まれた。
ロック・レボリューション。
そんなエルビスの登場に学んで生まれた、
クリエイティブ・スペース。
IZUMIYA KYOTO で、
若者の生活と、
いまという時代が、
クロスオーバー。
はじめます。

イズミヤ株式会社

Izumiya
KYOTO

6F BOOK CENTER
5F SOUND & SPORTS
4F VARIETY LAND
3F FASHION MEDIA

イズミヤ
イズミヤ株式会社